

水辺活動

プログラム名	湖岸清掃 ※団体主導		
概要	浜名湖に漂着したごみや流木を清掃することで、自然を大切にする心を育む。		
ねらい	浜名湖をきれいにすることを通して、奉仕の精神や、モノを大切にする心を養い、浜名湖に対する関心をもつことができる。湖岸の漂流物などから、環境問題について考えるきっかけができる。		
条件	対象	全年齢	人数（指導者人数）
	活動目安時間	60分程度	活動時期
	活動場所	湖岸、マリーナ広場	費用
	下見	要	活動名簿提出
持ち物・準備	（個人）軍手、帽子、飲料、濡れてもよい靴（サンダル・クロックスタイプは不可） （貸出）ごみ袋、草木用のごみ袋 ※ごみは青年の家で回収		
安全上の留意点 （対策方法）	熱中症・脱水症状（適度な水分補給と休憩、帽子の着用の徹底） 転倒、石場でのケガ（注意喚起、軍手、古靴着用の徹底） 自然災害（気象状況の把握、落雷等の恐れがあるときは速やかに艇庫へ避難） 有毒生物、カニ、貝殻や漂流物によるケガ（事前の注意喚起、危険な生物を見つけたら指導者に報告）		

活動内容（手順）

事前①指導者配置の決定：研修生への説明、巡視指導、研修生の補助、本部

- ②グループ編成：実施に適したグループ編成をし、活動名簿を提出（活動名簿はホームページからダウンロード可）
- ③実施方法の決定：活動内容や時間・休憩時間の設定
- ④研修生への事前指導：活動の「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物


活動前①打合せ（活動10分前）：事務室前で所員と引率責任者・担当指導者にて実施

実施判断：気象を基に、協議の上決定

確認事項：人数、グループ数、健康状態、活動範囲、活動時間、貸出備品

活動①指導：指導者より

活動範囲等の説明

- ②活動開始：ごみ袋を持って清掃場所に移動（指導者は活動を行わず、研修生の活動状況を把握）
ごみ袋は5番艇庫入って正面の棚にあるのでそこから持っていく。
 - ③片付け：ごみ袋を回収し、9番艇庫前に置く（活動終了後所員が回収） 
- 艇庫5番の棚にあるハンドソープを使い、水道で手を洗う（使用後は元の場所へ戻す）**

- ④確認事項：人数、健康状態
- ⑤振返り：活動の感想を発表
- ⑥報告：所員へ終了、研修生の健康状態を報告

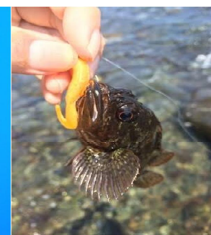


<その他>

- ※ごみは、《可燃ごみ》《不燃ごみ》《ペットボトル、缶》に分別して回収
- ※ごみ袋に入るもののみ回収する（流木や貝等自然のものはごみ袋に入れない）
- ※大きなものはごみ袋に入れず、別にして回収する



赤クラゲ



オコゼ



アカエイ

★毒のある生き物として、主に、赤クラゲ、オコゼ、アカエイが挙げられる。（右図参照）

◆赤クラゲに刺されたら…海水で患部を洗う→ゴム手袋をしてピンセットで触手を取る→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ

◆オコゼに刺されたら…流水で患部を洗浄する→棘を抜く→毒を吸い出す→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ

◆アカエイに刺されたら…海水で患部を洗う→毒針を抜く→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ